

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備

研究テーマ名

地域特性が生きる医療介護総合計画の評価基準の確立——小児在宅医療を起点にして

責任機関

国立大学法人北海道大学

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 加藤 智章 (小児医療グループ) グループリーダー <u>土島 智幸</u>	北海道大学・大学院法学研究科・教授 医療法人稲生会・理事長、生涯医療クリニックさっぽろ・院長
分担者 <u>伊藤 建雄</u> (ケア・マネジメント、家族政策グループ) グループリーダー 西村 淳	特定非営利活動法人難病支援ネット北海道・代表 北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・教授
分担者 千田 航	北海道大学・大学院法学研究科・助教

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,560,000	4,160,000	2,760,000	1,750,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

北海道の特性を生かした地域医療介護総合計画を策定するために、本研究は実務者や多様な利害関係者との相互交流を通じて、小児在宅医療から出発して地域包括ケア・システムに展開しうる計画評価基準・評価方法の確立を展望するものである。

研究計画の概要

平成27年度・28年度は実証分析を行いつつ政策提言の試案作成をめざす。平成29年度は現実の計画策定とともに実証分析との乖離や計画評価基準・方法のあてはめを行う。平成30年度は実証分析の公表作業と、評価基準等の効果測定・影響力評価を行う。